

# 大久野島ビジターセンター便り

Vol.74 (H28.9.18)

猛暑だった夏も終わり、朝晩が過ごしやすくなってきましたね。島のウサギたちも暑い時には息があがってしんどそうにしていたのですが、最近は木陰でのんびりと気持ちよさそうにしています。

島の植物たちも、このところの雨でようやく一息ついたようです。今年は8月に特に雨が少なく、クサギやアカメガシワの若木、アジサイ等は葉がしだれて、暑さにうなだれているようでした。梅雨に雨が多かったのも大変でしたが、この夏のように雨が降らないのも辛いことですよね。全てにおいてですが、バランスが一番だとつくづく感じます。今回は、夏の猛暑日の様子と現在の大久野島の様子をみなさんにご紹介致します。

## 比べてみよう！



### 【お腹を冷やしているアナウサギ(2016.8.23)】

- ・暑さが苦手なウサギ達は、お腹を少しでも冷やそうと穴を掘って地面に寝そべっていました。
- ・この場所は近くに湿地があるので、他の木陰と比べると涼しく感じました。



### 【木陰でのんびりするアナウサギ(2016.9.13)】

- ・道路の脇のヒラドツツジの植え込みの下で涼んでいました。真夏は肩で息をしているように呼吸して、木陰にいてもしんどそうでしたが、ここ数日は呼吸もゆっくりにおだやかに過ごしています。



### 【うなだれた様子のガクアジサイ(2016.8.23)】

- ・この夏は広島市内で雨が降っていても、瀬戸内側では1ミリも降らないことがしばしばありました。若い木やアジサイ等は根から十分に水分を吸収することが出来ず、うなだれているように見えました。



### 【生き生きした様子のガクアジサイ(2016.9.18)】

- ・ここ数日は台風の影響もあり、しとしとと雨が降っています。植物たちにとっては、とてもよい雨のようです。アジサイを見にいくと、葉は少なくなりましたが、しっかりとついていて、生き生きとしていました。



# 実施報告

夏休み期間中に、特別クラフト体験「うちわを作ろう！」を実施致しました。竹が原料のパルプ(=植物から取り出した繊維)を使って紙を漉き、大久野島に生息するアナウサギ、絶滅危惧種のカブトガニ等の消しゴムスタンプや島に生育している植物の葉っぱのスタンプを押しながら、島の自然を学びました。オリジナルの素敵のうちわが完成しましたね！みなさん暑い中のご参加ありがとうございました。

## ●紙漉き体験

- ・竹原市は竹で町おこしを行っています。竹が原料の紙漉きは、地元施設「竹の駅」駅長の坂元静馬さんが独自の 방법으로考案されたものです。
- ・溜漉き(=ためすき)という手法で、和紙を作りました。うちわにするため、通常の体験よりも薄く作りましたが、みなさん上手に作る事が出来ました！



## ●うちわ作り

- ・作った和紙をうちわの大きさに切り、スタンプを貼り付けて完成です。島に生息するアナウサギ、周辺に生息する絶滅危惧種のスナメリやカブトガニ等がいることを学びました。
- ・島の植物の葉っぱスタンプも押しました。葉の裏は葉脈がしっかりとしていたので、きれいに押せました！







大久野島ビクターセンター便り vol.74 H28.9.18 発行  
発行・編集：大久野島ビクターセンター  
〒729-2311 広島県竹原市忠海町大久野島  
電話・FAX：(0846) 26-0100  
開館：9:00～16:00 休館日：水曜日（1-2月は水・木）  
お問い合わせなどはこちらまで 担当 馬場